

# 想定最大規模降雨に基づく 洪水浸水想定区域図について



平成28年5月31日  
国土交通省 荒川上流河川事務所



## 課題

近年、洪水のほか、内水<sup>※</sup>・高潮により、現在の想定を超える浸水被害が多発



H26.8避難所2階の浸水  
(徳島県)



H25.8梅田駅周辺の浸水  
(大阪市)

※)内水…公共の水域等に雨水を排水できないことによる出水。条文上は、「雨水出水」。

## 方向性

想定し得る最大規模の洪水に対する避難体制等の充実・強化

想定し得る最大規模の内水・高潮に対する避難体制等の充実・強化

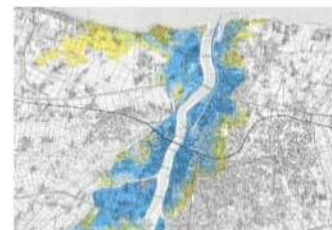
下水道管理者と連携した、内水に対する水防活動の推進

## 改正の概要

○:水防法改正 ◇:水防法・下水道法改正

○ 現行の洪水に係る浸水想定区域について、想定し得る最大規模の洪水に係る区域に拡充して公表

(現行は、河川整備において基本となる降雨を前提とした区域)



河川整備において基本となる降雨を前提



想定し得る最大規模の洪水に係る浸水想定区域

○ 想定し得る最大規模の内水・高潮に係る浸水想定区域を公表する制度を創設

○ 内水・高潮に対応するため、下水道・海岸の水位により浸水被害の危険を周知する制度を創設



高潮浸水想定区域

※ 「相当な損害を生ずるおそれ」がある箇所において実施することを想定

◇ 下水道管理者に対し、水防計画に基づき水防管理団体が行う水防活動に協力することを義務付け

浸水想定区域…市町村地域防災計画に、洪水予報等の伝達方法、避難場所、避難経路等が定められ、ハザードマップにより、当該事項が住民等に周知されるとともに、地下街等の所有者等が避難確保等計画を定めること等により、避難確保等が図られる。  
→ 洪水予報等、浸水被害の危険を周知する制度と相まって、避難体制等を充実・強化

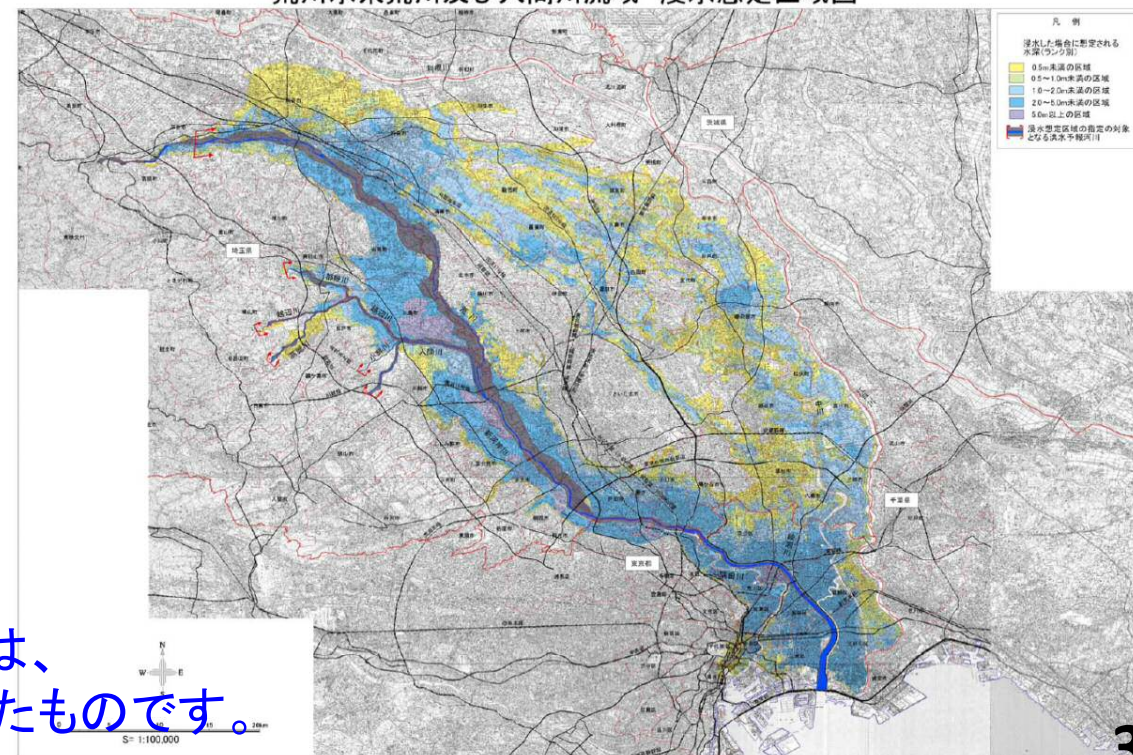


# 今回の洪水浸水想定区域図の主なポイント

- 想定し得る最大規模の外力に基づく想定
- 地盤高データを更新
- 氾濫域のメッシュサイズを細分化
- 浸水深の区分を見直し
- 浸水継続時間を表示

## 平成17年公表の浸水想定区域図

荒川水系荒川及び入間川流域 浸水想定区域図



・平成17年に表された荒川の浸水想定区域図は、「計画規模降雨」を前提とした降雨を対象としたものです。

# 洪水浸水想定区域に関する公表内容

## 告示内容 水防法施行規則第2条

- ①「想定し得る最大規模の降雨(計画規模を上回るもの)」を前提とした  
浸水想定区域・浸水深
- ②浸水継続時間
- ③「計画規模降雨」を前提とした浸水想定区域・浸水深

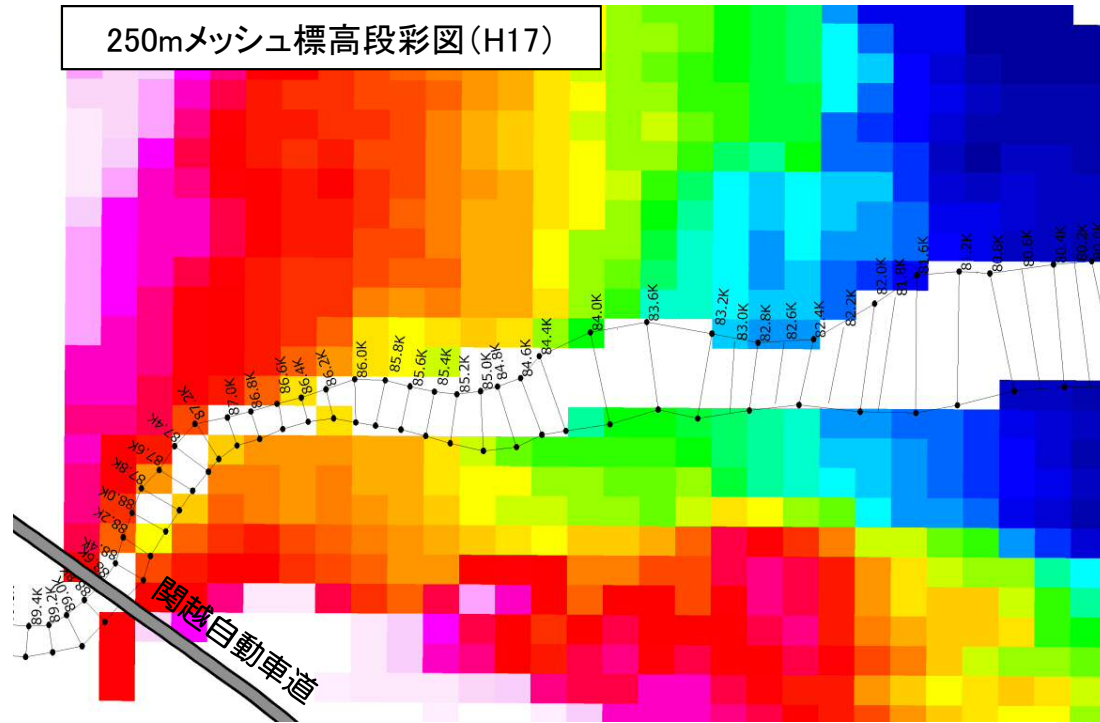
## 告示内容と合わせて公表する情報

- ④破堤地点別氾濫シミュレーション結果

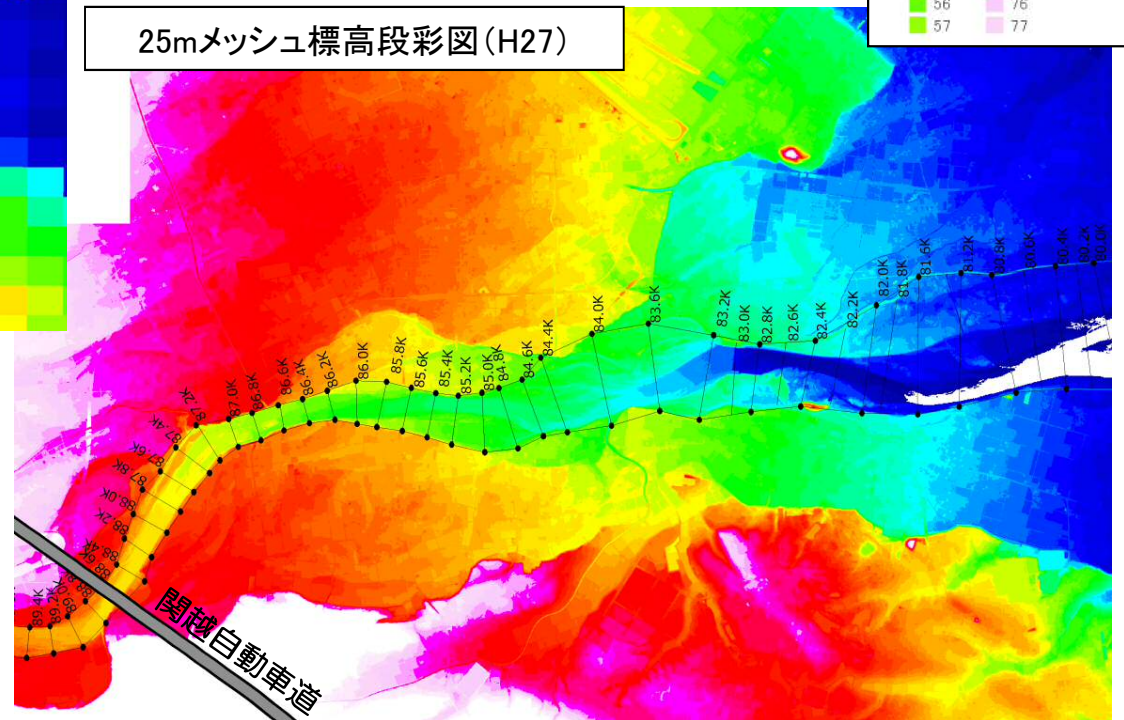
# 既存と今回の浸水想定区域図の違い(地盤高)

- 地盤高は、最新(平成27年)の航空レーザ測量データを用いて25mのメッシュでモデル化。
- 現在の浸水想定区域図は250mメッシュの計算であり、地形データの精緻化等により精度向上を図りました。

250mメッシュ標高段彩図(H17)



25mメッシュ標高段彩図(H27)



地盤高(A.P.m)

0	58	78
39	59	79
40	60	80
41	61	
42	62	
43	63	
44	64	
45	65	
46	66	
47	67	
48	68	
49	69	
50	70	
51	71	
52	72	
53	73	
54	74	
55	75	
56	76	
57	77	

図 地盤高の差異(H17とH27時点)



# 浸水区域と浸水深

- 洪水浸水想定区域図は、想定した雨が降った時に浸水するおそれのある区域の浸水深を包括的に表示したものです。
- 浸水深の色分けは、一般的な住宅を基準にすると以下のような目安となります。
  - ・ 0.5m未満 : 床下程度
  - ・ 0.5m～3.0m : 1階が浸水
  - ・ 3.0m～5.0m : 2階部分が浸水
  - ・ 5.0m以上 : 2階部分が水没
- ・ただし、雨の降り方や考慮していない高潮や内水の氾濫などにより、同図の浸水区域より浸水が広がる可能性があることに注意してください。
- ・表示されている浸水深から、水害時でも被害リスクの小さい住まい方、命を守るための避難の仕方などの参考にしてください。



平成27年9月関東・東北豪雨 : 屋根からヘリコプターで救助される人  
毎日新聞社

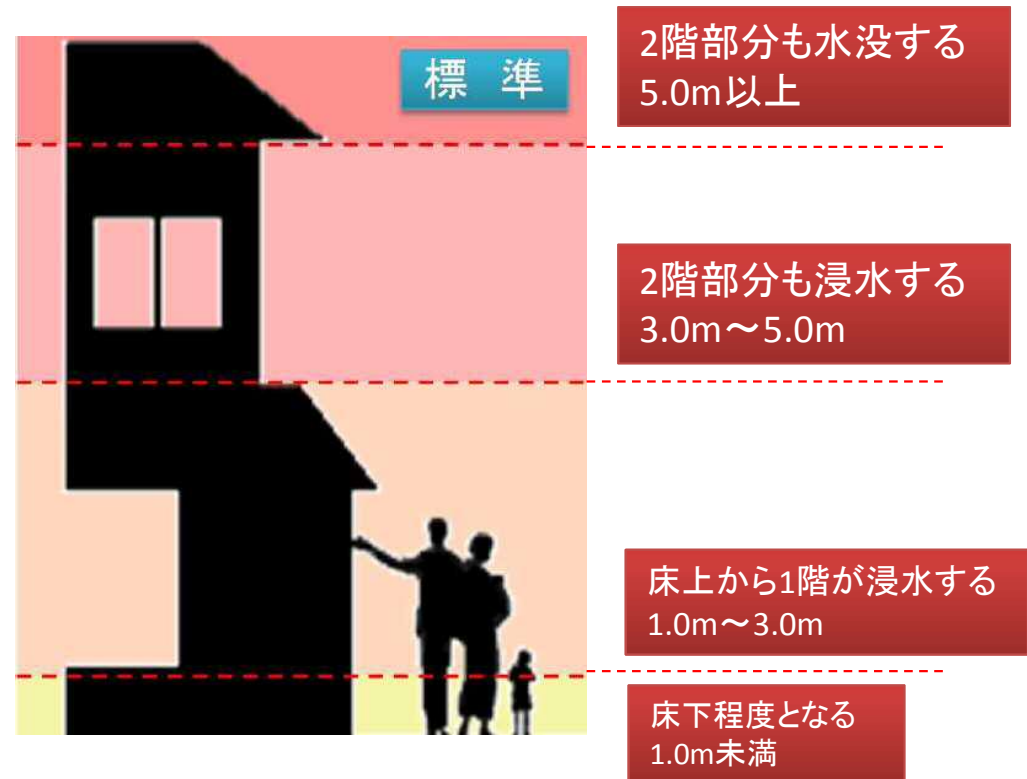


図 浸水深の表示区分(国土交通省HP)

# 浸水継続時間

- 河川の氾濫では、地盤の高さ等に応じて浸水は徐々に深くなり、ピークを迎えます。その後、排水等により浸水深が下がっていきます。
- 浸水深が0.5mを上回った時点から最終的に0.5mを下回るまでの通算時間を浸水継続時間として提供します。

# その他情報

- 自主的な避難に活用できる情報として、破堤地点別の氾濫シミュレーション結果をウェブサイト(浸水ナビ)に今後公表します。

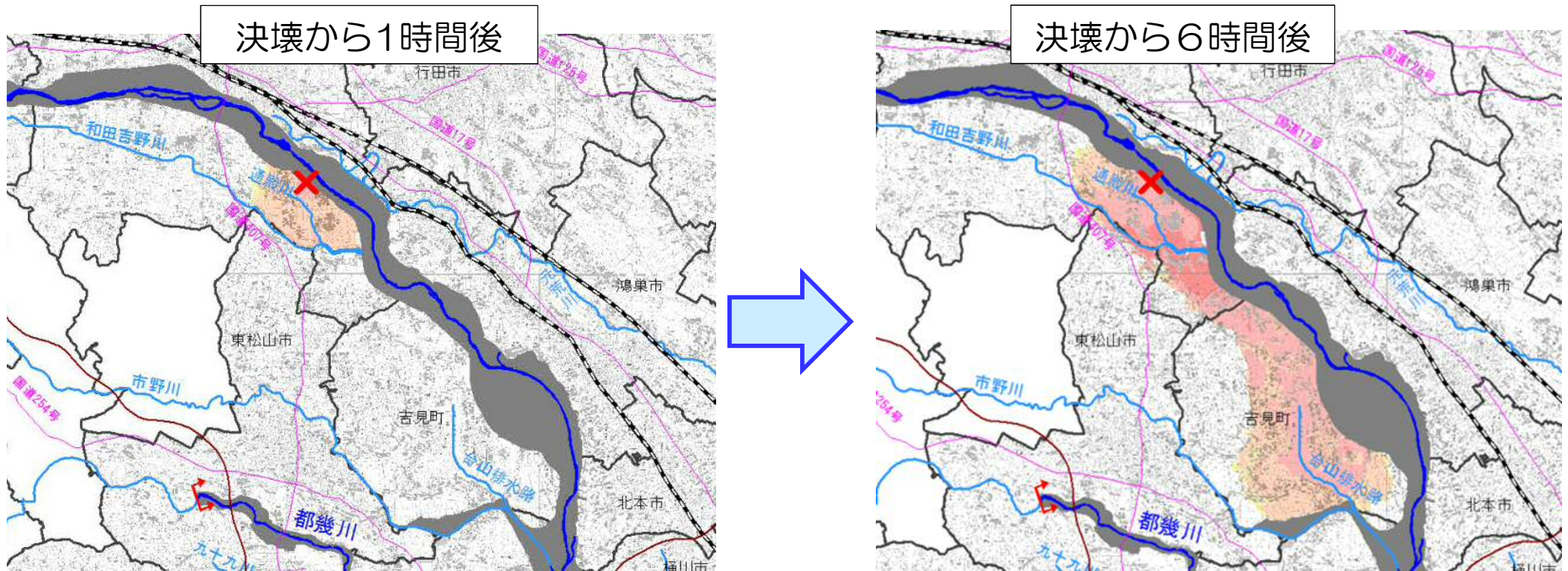


図 氾濫シミュレーションのイメージ